入院診療計画書

やわたメディカルセンター

様　入院日：　年　月　日　病棟：　号室　西暦　年　月　日

病名・症状：　パス名：**人工股関節置換術**　担当医：　印　看護師：

担当看護師：　担当薬剤師：　担当栄養士：　西暦　年　月　日

総合的機能評価：　患者様・ご家族様サイン

期　間	No	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定
経　過		入院～手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後　1　日	術後　2　日	術後　3～6　日	術後　7　日	術後　2　週目(8～14日)	術後　3　週目(15日～)　～　退院	退院(術後4週前後)
達成目標	P	●患者及び家族が治療内容を理解している。 ●手術前後の食事・安静度について理解している。	●手術前後の食事・安静度について理解している。 ●手術への不安が最小限である。	●安静臥床ができる。 ●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部の異常が見られない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部の異常が見られない。 ●転倒しない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部の異常が見られない。 ●転倒しない。 ●脱臼しない。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓症を起こさない ●患部の異常が見られない。 ●転倒しない。 ●脱臼しない。 ●補助具を使用し、歩行することができる。	●痛みのコントロールができる。 ●深部静脈血栓を起こさない。 ●患部の異常が見られない。 ●転倒しない。 ●脱臼しない。 ●リハビリ室まで補助具を使用し、歩行することができる。	●痛みのコントロールができる。 ●脱臼を起こさない。 ●転倒しない。	●転倒しない。 ●脱臼を起こさない。 ●杖で病棟内を歩くことができる。 ●外出・外泊ができる。	●退院後の注意事項を理解し退院できる。 ●退院後の自主運動を習慣化している。
退院基準	P										●【　退院の基準　】 ・独歩または補助具歩行、階段昇降(1フロア)ができる。 ・脱臼に留置し、更衣や入浴などの身の回りのことが自立できる。 上記ができれば、退院可となり、外来でのリハビリテーションや運動施設での運動へ移行します。 ●退院時間は、9：30までにお願いしております。
活動・安静	P	・病院内での活動は自由です。 ・手術後使用する外転枕を使って横向きになる練習をします。		・手術後は自分で寝返りや起き上がりはできません。 ・脱臼予防のために外転枕を装着し、看護師が寝返りのお手伝いをします。	・体を起こすことができます。 ・血抜きの管が入っている間は外転枕を使用して横向きになります。	・骨の状況によって、3週間足に体重をかけられない場合があります。 ・傷のﾁｭｰﾌﾞが抜けたら、歩行練習を継続して行います。	・痛みに応じて杖歩行を開始します。			●外出、外泊許可。 ・杖歩行が安定し、脱臼肢位が注意できれば、退院に向けて外出や外泊をします。	●外来でのリハビリテーションや運動施設での運動へ移行します。
栄養(食事)・排泄・清潔	P	●手術前日の21時から食事は食べられません。アメ、ガムも食べられません。水、お茶、スポーツドリンクのみ飲めます。 ・手足の爪切りをお願いします。 ●特別な栄養管理の必要性 【　有　・　無　】	●手術が午前の場合は6時まで、午後の場合は8時まで水分を摂ることができます。以降は食べたり飲んだりできません。 ・内服薬がある場合は6時に少量の水で内服してください。 ・点滴を開始する前にシャワーをすることができます。	・手術室で尿の管が入ります。	・朝から食事が食べられます。 ・痛みやリハビリの状況をみながら尿の管を抜きトイレへ行くことができます。 ・蒸しタオルで身体を拭き、更衣をお手伝いします。 ・傷口がフィルムになればシャワーができます。		・栄養指導があります。 (BMI25以上の場合、特別治療食を必要とする場合)		・抜糸の翌日傷口に異常がなければ、入浴できます。作業療法士が入浴動作を指導します。		●自宅での入浴が可能となります。
治療・処置・検査・説明・指導	P	★手術予定時刻　時頃 ・手術する部位に限らず、腫れたり、赤くなっている所があれば、看護師に伝えてください。 ・オムツを購入していただきます。 ・マニュキュアをされている方は落としてください。 ・パンフレットで生活指導をします。 ・口の周りの髭は全て剃ってください。	・上の下着は着用せずに手術衣に着替えます。 【▼注意！】 ・入れ歯・指輪や時計等の装飾品・眼鏡・コンタクトレンズ、ヘアピンは外してください。 ・左腕から点滴を行います。 ・手術時間は平均1時間半～2時間ですが、お部屋にもどるまでの時間は4時間ほどです。	・深部静脈血栓予防のため、手術後は足の血流を良くする機械を装着します。 自分でも足首の運動を意識して行いましょう。 ・帰室時より酸素マスク・心電図モニターをつけます。主治医の指示に従い外します。 ・手術後は傷口に血抜きの管が入っています。 ・手術後は尿の管が入っています。	・朝に採血があります。 ・1日3回(朝・昼・夕)抗生物質の点滴を行います。 ・傷のチューブは出血状況に応じて抜きます。 ・痛み止めの飲み薬がでます。 ・傷のチューブが抜けたら、夕食後に血栓予防のお薬を飲みます。 リクシアナ錠15mg	・手術の創部は、出血や感染徴候(赤み、腫れ、排膿)がある場合のみガーゼで保護します。 感染徴候がなく乾燥していれば、基本的には創部の保護は必要ありません。 ・出血状況に応じて、傷のﾁｭｰﾌﾞを抜きます。 ・夕食後に血栓予防のお薬を飲みます。 リクシアナ錠15mg	・術後5日まで、血栓予防のお薬を飲みます。 リクシアナ錠15mg	採血とレントゲンの検査をします。 ・術後7日目に半抜鉤を行います。	・1週間程で4階の回復期リハビリ病棟へ移ります。 ・術後9日目に全抜鉤を行います。埋没縫合の場合は、フイルムを除去して、傷口の状態を確認します。	・術後3週間目にレントゲン、採血をします。	●独歩または補助具歩行、階段昇降(1フロア)、入浴が可能になれば退院日を決定します。 ●退院後の生活についてご説明します。 ●再診日は退院日が決定したら医師より指示がでます。 ●人工関節は、無症状でも時とともにゆるむことがあるので、1年に1回はレントゲンを撮りましょう。
理学療法	P	・関節の動きの測定、筋力測定を行います。 ・生活状況をお聞きします。	お休み	ベッド上での運動指導を開始します。	・足を動かす運動を開始します。 ・歩行器での歩行練習を開始します(痛みや体調に応じて) ・脱臼に注意したトイレ動作の練習を開始します。 ・着替えや身支度など日常生活動作においても練習していきます(痛みや体調に応じて)	・シャワー浴や体を洗う動作の練習を行います。 ・段差の昇り降りや外を歩く練習を開始します。			・脱臼に注意した入浴動作の練習を開始します。	●外来でのリハビリテーションや運動施設での運動へ移行します。 ・家庭でできる自主運動を紹介します。 ・自宅の環境や生活上のアドバイスを行います。	